

## 施設で使用する電力の約25%を発電するメガソーラー※を初めて敷設 『アリオ市原』に大規模太陽光発電を導入

～CO2 排出量削減の取り組みとして7月21日（火）より稼働～

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）は、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』に基づき、店舗運営に伴うCO2排出削減の取り組みの一環として、2020年7月21日（火）より、運営するショッピングセンター『アリオ市原』にて、大規模な太陽光パネルによる発電システムを稼働いたします。

本取り組みは、ショッピングセンターのスペースの有効活用の一つとして、その屋上部分に太陽光パネルを敷設し、店舗の使用電力の一部として活用するものです。今回、『アリオ市原』全体の電力使用量の約25%を太陽光パネルによる発電で賄うことが可能となり、それに伴い使用電力におけるCO2排出量も約25%削減することができます。これは、国内の商業施設として最大級の発電設備となり、今後も、対応可能な店舗については太陽光パネルの設置を進めるべく検討します。

イトーヨーカドーは、今後も環境負荷低減の一助となる様々な取り組みにチャレンジし、他施設拡大により、もっと環境に優しい店舗運営に努めてまいります。

※メガソーラー：1MW以上の出力を持つ太陽光発電システムを指す。

### <概要>



- ◆ 設置施設：『アリオ市原（住所：千葉県市原市更級4丁目3番2）』の屋上部分
- ◆ 稼働日：2020年7月21日（火）～
- ◆ 設置数量：太陽光パネル6,229枚（国内ネクストエナジー社製）を設置
- ◆ 発電容量：2367.02kW（＝約2.37MW）
- ◆ 想定発電量：2,635,390kwh/年 ※施設運営に使用する電力の約25%相当
- ◆ CO2削減量：1,199t-co2/年



セブン&アイグループでは、19年5月に環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を策定し、“豊かで持続可能な社会”の実現に向け取り組んでいます。



セブン&アイ・ホールディングスは、20年6月1日に発足した、環境問題の解決を目指す国連の新たなプロジェクト『UNEP サステナビリティアクション』に賛同しています。

以上